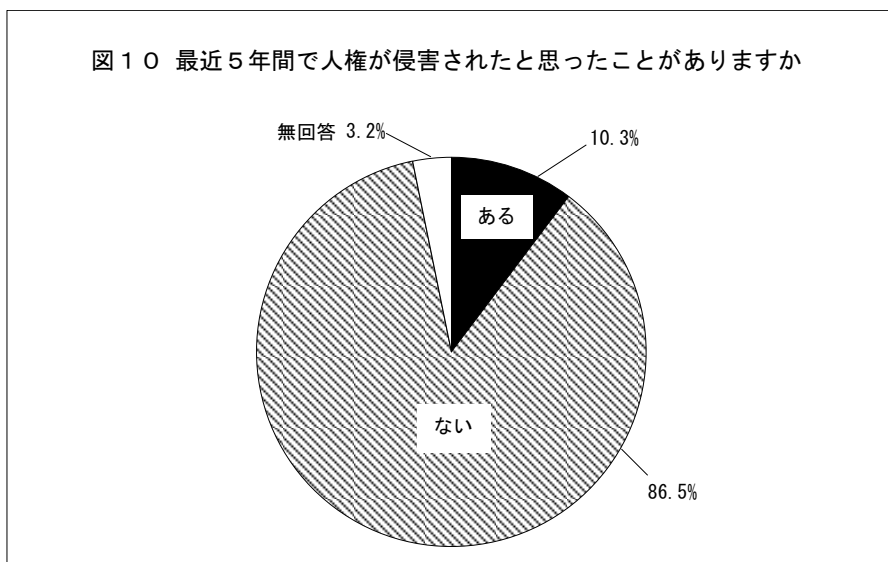


5. 人権侵害について（問10より）

（1）人権侵害の有無について

問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

1. ある →（問10-1へ） 2. ない →（問11へ）



- ・「ある」が10.3%、「ない」は86.5%となった。
- ・「前回調査」では、「ある」は24.4%、「ない」は72.2%で「ある」「ない」それぞれの差は14ポイントとなった。前回は期間を限定せずに尋ねたのに対して、今回は過去5年間で限定して尋ねたことが回答に反映されたと推測することもできる。「前回調査」結果の性別集計との比較では、女性の方が男性より人権侵害を受けたと感じている人が多かったが、今回も男女の比較では女性の方が高くなっており、傾向としては類似している。
- ・また、「橿原市調査」では、「ある」が12.0%、「ない」は85.2%、「奈良県調査」では「ある」は9.4%、「ない」が81.9%となった。「ある」について見ると「橿原市調査」より約2ポイント少なく、「奈良県調査」よりも1ポイント上回った。反対に「ない」では、「橿原市調査」より約1ポイント多く、「奈良県調査」より約5ポイント多くなった。
- ・「ある」と答えた人の率を属性で見えていくと、性別では選択しない、年齢別では50歳代、小学校区別では掖上小、職業では自営業がそれぞれの属性で最多となっている。

【表一性別集計】

		問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか			
		ある	ない	無回答	計
総数	度数	74	622	23	719
	%	10.3%	86.5%	3.2%	100.0%
性別 男性	度数	22	224	2	248
	%	8.9%	90.3%	0.8%	100.0%
女性	度数	37	315	17	369
	%	10.0%	85.4%	4.6%	100.0%
選択しない	度数	8	42	0	50
	%	16.0%	84.0%	0.0%	100.0%

【表一年齢別集計】

		問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと 思ったことがありますか				
		ある	ない	無回答	計	
総数	度数	74	622	23	719	
	%	10.3%	86.5%	3.2%	100.0%	
年齢	18～19歳	度数	1	8	0	9
	%	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%	
	20～29歳	度数	6	36	1	43
	%	14.0%	83.7%	2.3%	100.0%	
	30～39歳	度数	6	39	1	46
	%	13.0%	84.8%	2.2%	100.0%	
	40～49歳	度数	10	65	2	77
	%	13.0%	84.4%	2.6%	100.0%	
	50～59歳	度数	16	77	1	94
	%	17.0%	81.9%	1.1%	100.0%	
	60～69歳	度数	6	155	4	165
	%	3.6%	93.9%	2.4%	100.0%	
	70歳以上	度数	24	213	11	248
	%	9.7%	85.9%	4.4%	100.0%	

【表一小学校区別集計】

		問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと 思ったことがありますか				
		ある	ない	無回答	計	
総数	度数	74	622	23	719	
	%	10.3%	86.5%	3.2%	100.0%	
小学	御所小学校区	度数	20	190	5	215
校区	%	9.3%	88.4%	2.3%	100.0%	
	葛小学校区	度数	4	54	3	61
	%	6.6%	88.5%	4.9%	100.0%	
	秋津小学校区	度数	3	42	0	45
	%	6.7%	93.3%	0.0%	100.0%	
	掖上小学校区	度数	12	66	1	79
	%	15.2%	83.5%	1.3%	100.0%	
	葛城小学校区	度数	5	49	2	56
	%	8.9%	87.5%	3.6%	100.0%	
	名柄小学校区	度数	4	39	2	45
	%	8.9%	86.7%	4.4%	100.0%	
	大正小学校区	度数	14	127	6	147
	%	9.5%	86.4%	4.1%	100.0%	

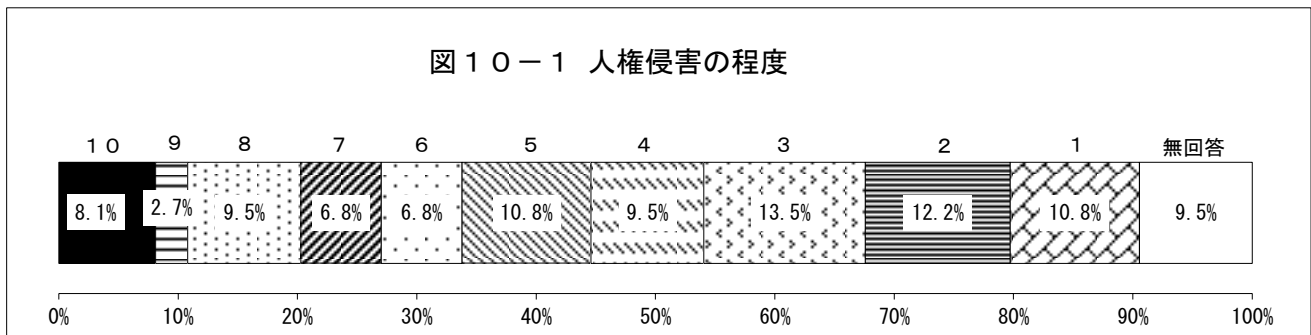
【表一職業別集計】

		問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか			
		ある	ない	無回答	計
総数	度数	74	622	23	719
	%	10.3%	86.5%	3.2%	100.0%
職業 自営業	度数	12	65	2	79
	%	15.2%	82.3%	2.5%	100.0%
民間企業_24 人以下	度数	2	39	3	44
	%	4.5%	88.6%	6.8%	100.0%
民間企業_25 人以上	度数	12	94	3	109
	%	11.0%	86.2%	2.8%	100.0%
官公庁	度数	2	12	0	14
	%	14.3%	85.7%	0.0%	100.0%
学校関係	度数	1	14	0	15
	%	6.7%	93.3%	0.0%	100.0%
無職	度数	28	298	11	337
	%	8.3%	88.4%	3.3%	100.0%
その他	度数	11	60	1	72
	%	15.3%	83.3%	1.4%	100.0%

(2) 人権侵害の程度について

問10-1 〈問10で「1. ある」と答えた人におたずねします〉そのうち、あなたにとって最も印象に残っている経験一つについておたずねします。その人権侵害はあなたにとってどの程度のものだったでしょうか。何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる数字に○をつけてください。

←重大な人権侵害
10 — 9 — 8 — 7 — 6 — 5 — 4 — 3 — 2 — 1
軽度の人権侵害→



- ・最多の回答は侵害の程度「3」の13.5%、次いで「2」12.2%、「1」「5」10.8%となった。軽度な人権侵害「1」～「3」の合計は36.5%、重大な人権侵害「8～10」の合計は20.3%で、軽度な方に偏りが見られる。
- ・下記の表のとおり平均値を算出した結果、4.82となり、また、性別の男女の比較では男性の平均値は5.05で平均値を上回り、人権侵害を受けた人の中では、男性の方が女性より重大な侵害を受けたと感じていることが分かった。「榎原市調査」との比較では榎原市の平均値5.49を下回っている。また、「奈良県調査」との比較では男性の平均値6.00、女性5.28で、男性で約1ポイント、女性で0.8ポイント下回った。男性の方が女性よりも重大な人権侵害を受けたとする回答結果については、榎原市、奈良県の両方と共通している。

【平均値】

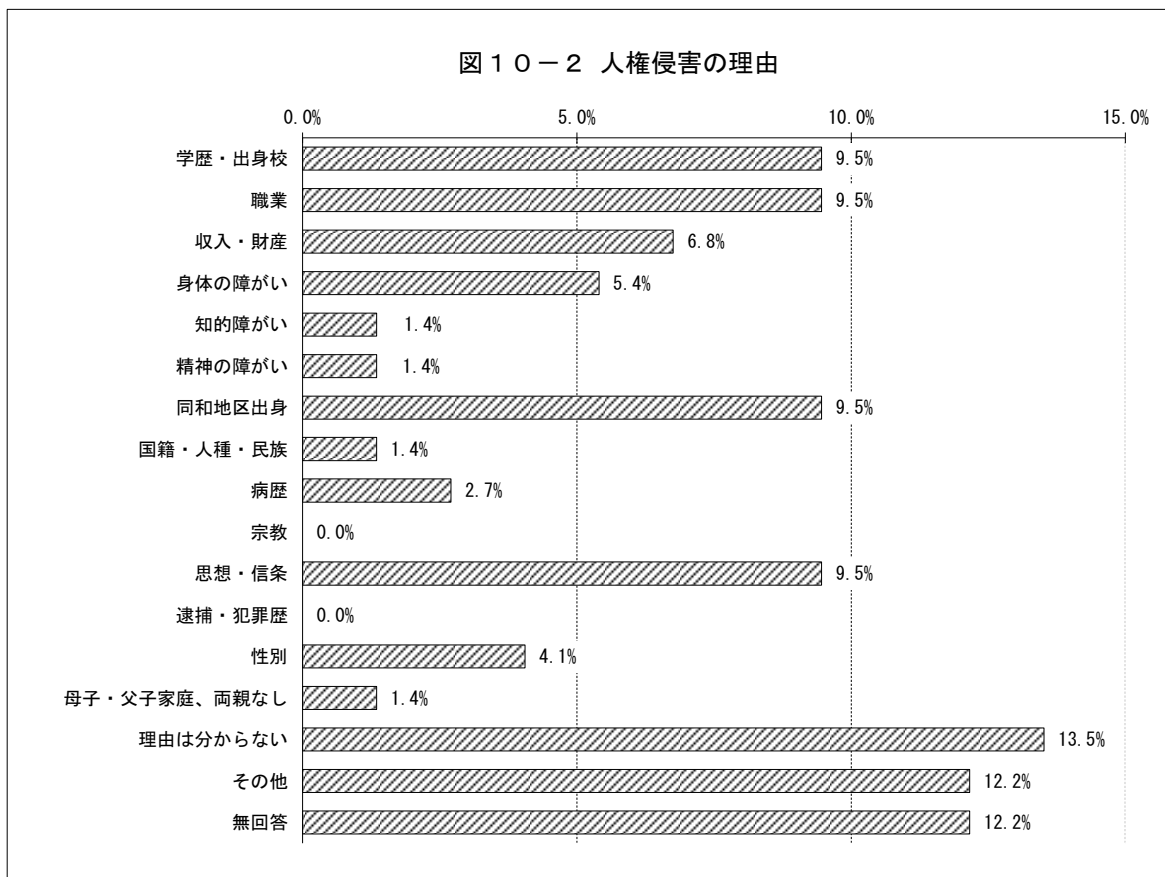
性別	平均値	度数	標準偏差
男性	5.05	22	3.000
女性	4.47	32	2.639
選択しない	6.00	8	3.117
無回答	4.20	5	2.864
合計	4.82	67	2.817

※標準偏差：平均値からのデータのばらつきを表す指標。この値が大きいとデータのばらつきの度合いが大きい。

(3) 人権侵害の理由について

問 10-2 その人権侵害は、どのようなことを理由にしたものでしたか。次の中からあてはまるものを一つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 学歴・出身校 2. 職業 3. 収入・財産 4. 身体の障がい 5. 知的障がい
 6. 精神の障がい 7. 同和地区出身 8. 国籍・人種・民族 9. 病歴 10. 宗教
 11. 思想・信条 12. 逮捕・犯罪歴 13. 性別 14. 母子・父子家庭、両親なし
 15. 理由はわからない 16. その他



- ・「宗教」「逮捕・犯罪歴」を除くすべての項目に回答があり、侵害の理由が多岐にわたっていることが分かった。「理由はわからない」が最多の 13.5%、次いで「学歴・出身校」「職業」「同和地区出身」「思想・信条」が 9.5%であり、「その他」にも 12.2%の回答が寄せられた。「その他」の内容の多くは侵害の具体的内容であったが、理由としては「地区外出身」や「認知」という回答があった。
- ・性別では男性の最多の回答は「同和地区出身」18.2%、「職業」「思想・信条」「その他」が 13.6%とつづいた。女性は「理由はわからない」が最多の 16.2%、「学歴・出身校」の 10.8%とつづいた。
- ・年齢別では「同和地区出身」が 40 歳代～70 歳以上までの年代にすべて回答があった。また、「身体の障がい」については唯一 70 歳以上に回答があった。

【表一年齢別集計】

		問10-2 その人権侵害は、どのようなことを理由にしたものでしたか								
		学歴・出 身校	職業	収入・財 産	身体障 がい	知的障 がい	精神障 がい	同和地区 出身	国籍・人 種・民族	病歴
総数	度数	7	7	5	4	1	1	7	1	2
	%	9.5%	9.5%	6.8%	5.4%	1.4%	1.4%	9.5%	1.4%	2.7%
年齢	18～19歳	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	度数	1	1	0	0	0	0	0	2
	%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	30～39歳	度数	0	0	1	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	度数	2	0	0	0	0	2	1	0
	%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	50～59歳	度数	1	1	1	0	1	1	3	0
	%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	0.0%
	60～69歳	度数	0	0	1	0	0	0	1	0
	%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	70歳以上	度数	3	4	1	4	0	0	1	0
	%	12.5%	16.7%	4.2%	16.7%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%

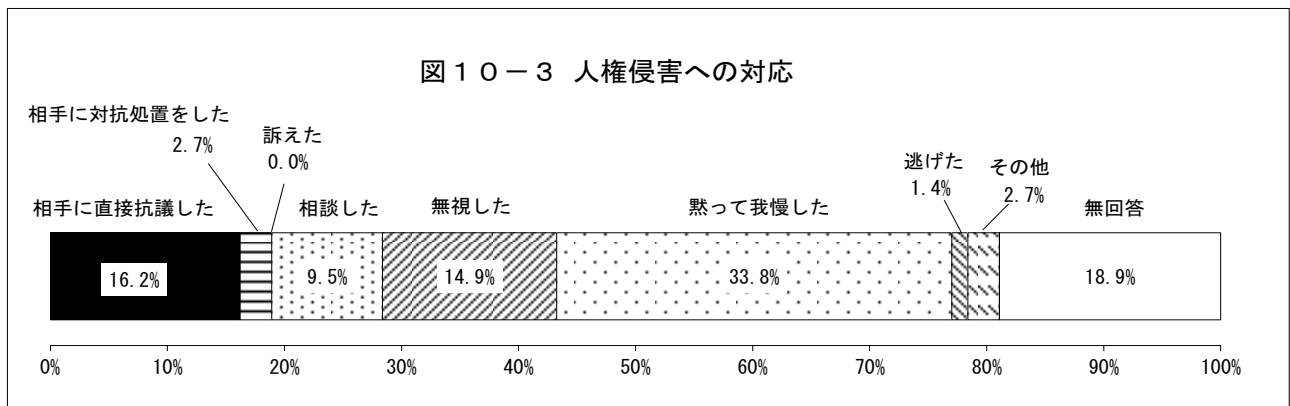
		問10-2 その人権侵害は、どのようなことを理由にしたものでしたか								
		宗教	思想・信 条	逮捕・犯 罪歴	性別	母子・父 子家庭、 両親なし	理由は分 からない	その他	無回答	計
総数	度数	0	7	0	3	1	10	9	9	74
	%	0.0%	9.5%	0.0%	4.1%	1.4%	13.5%	12.2%	12.2%	100.0%
年齢	18～19歳	度数	0	0	0	0	0	1	0	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20～29歳	度数	0	0	0	0	0	1	1	6
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%
	30～39歳	度数	0	2	0	1	0	1	0	6
	%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
	40～49歳	度数	0	1	0	1	0	2	1	10
	%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	50～59歳	度数	0	0	0	0	0	2	1	16
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	31.3%	100.0%
	60～69歳	度数	0	1	0	1	0	2	0	6
	%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
	70歳以上	度数	0	3	0	0	1	4	2	24
	%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	4.2%	16.7%	8.3%	4.2%	100.0%

- ・職業別では自営業において「職業」が25.0%で最多となった。
- ・「橿原市調査」では「思想・信条」、「職業」が具体的な内容として多く、その点では共通している。また、「奈良県調査」では「理由はわからない」12.3%、「職業」8.8%が多く、これらも共通している。
- ・御所市の特徴としては「学歴・出身校」と「同和地区出身」にも回答が多く寄せられた点である。

(4) 人権侵害への対応について

問 10-3 そのとき、あなたはどのように対応しましたか。次の中から最もあてはまるものを一つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 相手に直接抗議した
2. 相手に対抗措置をした（やりかえした、孤立させるよう働きかけた）
3. 訴えた（新聞などマスコミ、行政機関、裁判、警察）
4. 相談した
5. 無視した
6. 黙って我慢した
7. 逃げた
8. その他



- ・「黙って我慢した」が最多の 33.8%、次いで「相手に直接抗議した」16.2%、「無視した」14.9%となった。「相手に直接抗議した」「相手に対抗措置をした」「訴えた」を人権侵害に対する直接的な対抗行動と考えると、合計で 18.9%となる。一方、「無視した」「黙って我慢した」「逃げた」を対抗行動をとらなかった人と考え、合計で 50.1%となり、対抗の行動をとった人より 31 ポイント多い。同じ質問を実施した「橿原市調査」では、前者が 16.5%、後者が 61.6%、「奈良県調査」結果では前者が 15.8%、後者は 65.7%だった。「橿原市調査」と「奈良県調査」よりも行動をとった人の割合は多かった。
- ・また、性別集計から男性は「相手に直接抗議した」が 22.7%、選択しないは 25.0%、女性は 10.8%になった。さらに、男性は「相手に対抗措置をした」が 9.1%で、「相手に直接抗議した」人と合わせると 31.8%が対抗行動をとったことになる。男性は女性よりも人権侵害を重大に受けとめていることが結果に影響したものと推測することもできる。

【表一性別集計】

		問10-3 そのとき、あなたはどのように対応しましたか									
		相手に直接抗議した	相手に対抗措置をした	訴えた	相談した	無視した	黙って我慢した	逃げた	その他	無回答	計
総数	度数	12	2	0	7	11	25	1	2	14	74
	%	16.2%	2.7%	0.0%	9.5%	14.9%	33.8%	1.4%	2.7%	18.9%	100.0%
性別 男性	度数	5	2	0	1	4	8	0	0	2	22
	%	22.7%	9.1%	0.0%	4.5%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	100.0%
女性	度数	4	0	0	5	5	13	1	1	8	37
	%	10.8%	0.0%	0.0%	13.5%	13.5%	35.1%	2.7%	2.7%	21.6%	100.0%
選択しない	度数	2	0	0	1	1	3	0	1	0	8
	%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%

□クロス集計

問 10-3 人権侵害への対応 × 問 13 友人の同和地区に対する差別的な発言に対する行動について

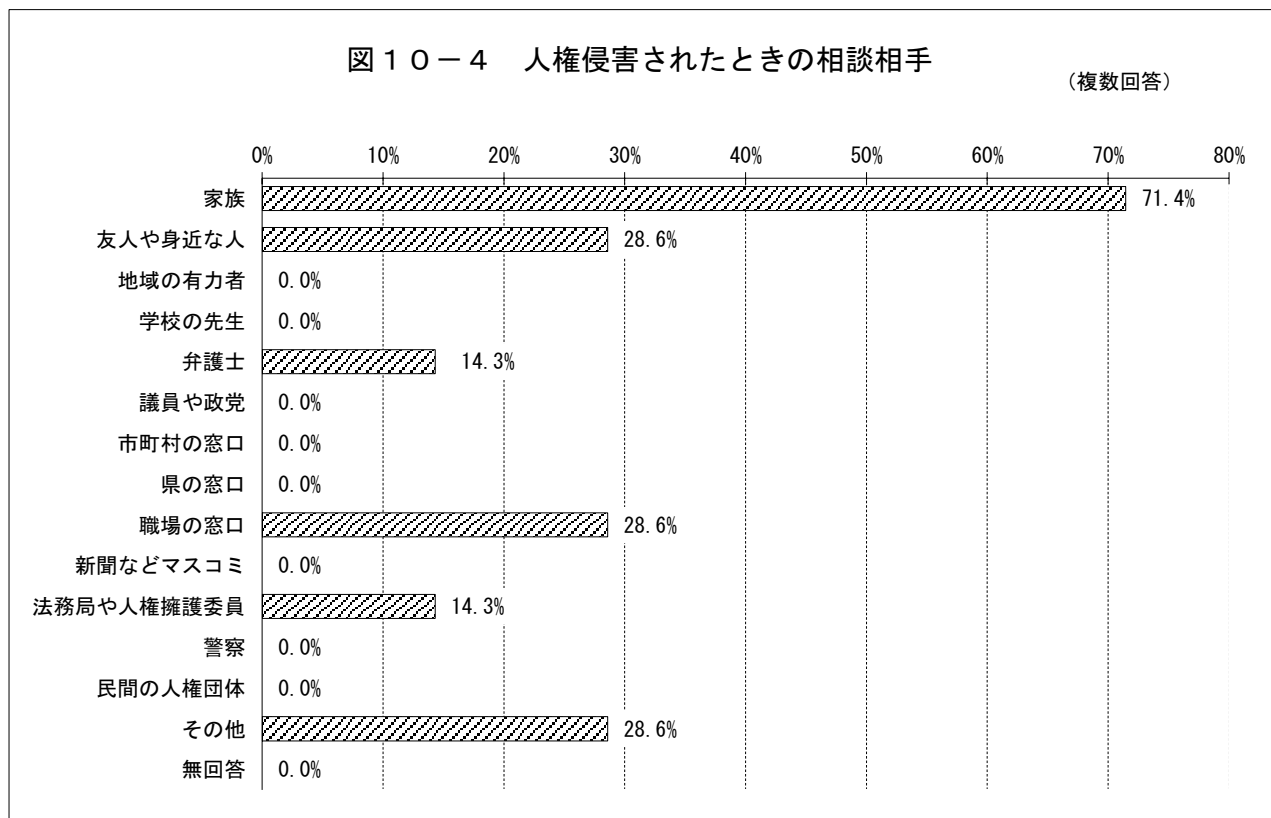
		問13 あなたの友人が、同和地区に対する差別的な発言をしたとき、あなたはこういった行動をとると思いますか							合計
		差別的な発言であること を指摘して、話しあ う	表向きは話をあわせる が、何とかして差別は いけないことを伝える	表向きは話をあわせ、 自分も差別的な言葉を 口に出してしまう	ほかの話題 に変わるよ うに努力す る	なにもせず にだまって いる	その他	わからない	
問10-3	そのとき、あなたはどのように対応しましたか								
	相手に直接抗議した	5 41.7%	3 25.0%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
	相手に対抗処置をした	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	相談した	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
	無視した	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	10 100.0%
	黙って我慢した	7 29.2%	8 33.3%	0 0.0%	5 20.8%	2 8.3%	1 4.2%	1 4.2%	24 100.0%
	逃げた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
	その他	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
合計		15 26.3%	17 29.8%	1 1.8%	12 21.1%	5 8.8%	3 5.3%	4 7.0%	57 100.0%

- ・ 自己的人権侵害に対して「相手に直接抗議した」という人は、友人の同和地区に対する差別的な発言に対して、「差別的な発言であることを指摘して、話しあう」が41.7%、「表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える」に25.0%の回答があり、相手の差別的な発言に対して指摘する行動をとった率は僅かだが最多となった。

(5) 人権侵害の相談相手について

問10-4 〈問10-3で「4. 相談した」と答えた人におたずねします〉そのとき、誰に相談されましたか。相談された人や組織のあてはまる番号に○をつけてください（○はいくつでもけっこうです）。

- | | | | |
|-------------|--------------|----------------|----------|
| 1. 家族 | 2. 友人や身近な人 | 3. 地域の有力者 | 4. 学校の先生 |
| 5. 弁護士 | 6. 議員や政党 | 7. 市町村の窓口 | 8. 県の窓口 |
| 9. 職場の窓口 | 10. 新聞などマスコミ | 11. 法務局や人権擁護委員 | 12. 警察 |
| 13. 民間の人権団体 | 14. その他 | | |

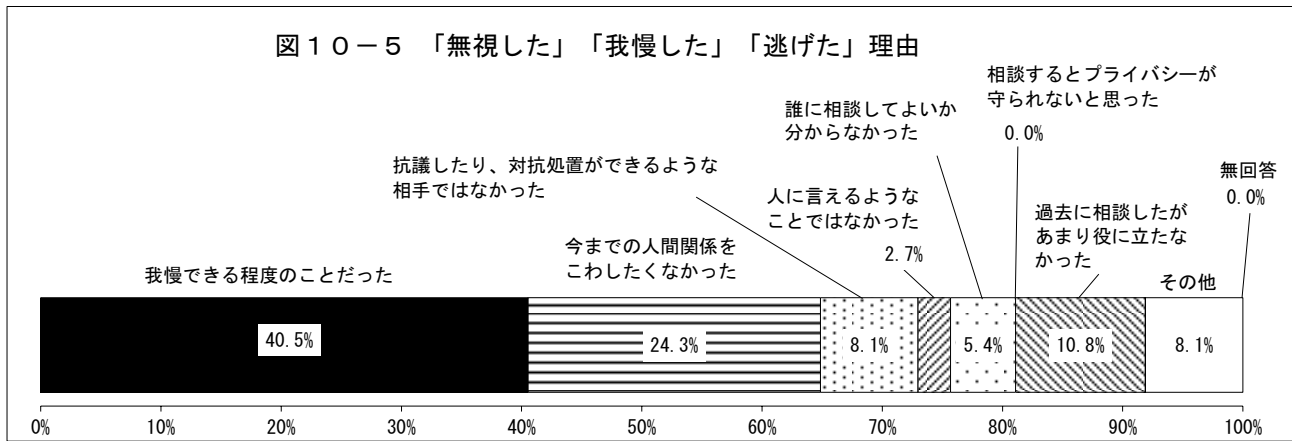


- ・「家族」が最多の71.4%、「友人や身近な人」「職場の窓口」「その他」が28.6%とつづき、「弁護士」「法務局や人権擁護委員」14.3%となった。「その他」に記載されたのは唯一「医師」という回答だった。「奈良県調査」と「橿原市調査」でも「家族」「友人や身近な人」が最多で、傾向としては相談しやすい気心の知れた人で、共通している。市町村や県の窓口、つまり行政が「0」だった背景については検討すべきである。
- ・性別集計では、女性の相談相手は「家族」が80.0%、「友人や身近な人」が40.0%となっている。男性は両方とも「0」だった。

(6) 無視した、黙って我慢した、逃げた理由について

問 10-5 〈問 10-3 で「5. 無視した」、「6. 黙って我慢した」、「7. 逃げた」と答えた人におたずねします〉
 そのようにされた理由は何でしょうか。次の中からあてはまるものを一つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1. 我慢できる程度のことだったので
2. 今までの人間関係をこわしたくなかったので
3. 抗議したり、対抗措置ができるような相手ではなかった
4. 人に言えるようなことではなかった
5. 相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいか分からなかった
6. 相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った
7. 過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった
8. その他



・「我慢できる程度のことだったので」が最多の 40.5%、次いで「今までの人間関係をこわしたくなかった」で 24.3%、「過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった」10.8%となった。「相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいか分からなかった」も 5.4%と僅かだが回答があった。今後の啓発の課題である。また、「過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった」については、相談のあり方等について検証が求められる。「相談機関に相談すると、プライバシーが守れないと思った」は「0」だった。

- ・性別では女性の場合、「今までの人間関係をこわしたくない」が 31.6%で最多の回答となり、また、過去の相談経験による問題も 15.8%と多い。

【表一性別集計】

		問10-5 無視した、黙って我慢した、逃げた理由は何でしょうか									
		我慢でき る程度 のことだ たので	今までの 人間関係 をこわし たくな かったの で	抗議した り、対 抗処置が できな い相手 でな かった ので	人に言 えよう なこ とでは な かった ので	相談した かった が、誰 に（ど こに） 相談 してよ い か分 から な か つ た の で	相談機 関に 相談 す ると、 プ ライ バ シー が守 られ ない と思 った の で	過去に 相談 した こと があ る が、 あ ま り 役 に 立 た な か つ た の で	その他	無回答	計
総数	度数	15	9	3	1	2	0	4	3	0	37
	%	40.5%	24.3%	8.1%	2.7%	5.4%	0.0%	10.8%	8.1%	0.0%	100.0%
性別 男性	度数	7	3	0	0	1	0	1	0	0	12
	%	58.3%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%
女性	度数	5	6	1	1	0	0	3	3	0	19
	%	26.3%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	15.8%	15.8%	0.0%	100.0%
選択しない	度数	2	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%